

令和元年度 笠利中だより



赤嶺ヶ丘

11月号

令和元年 11月 29日 (金) 発行

〒894-0622 奄美市笠利町大字笠利 1924 番地

TEL 0997-63-8114



文責：校舎建設も着々と進み、改めて「新しい校舎ができるのだ」と実感している牟田

「文武両道」の笠利中学校 校長 木場 敏朗

11月1日（金）に文化祭を実施しました。短い準備期間ではありましたが、生徒一人一人が「文化祭を成功させよう」という思いを強く持ち、自分の役割をしっかりと自覚し、何をするべきかを自分なりに考え、全員が同じ方向に向けて力を合わせることで素晴らしい文化祭を創りあげてくれました。『令和につなげ 結の心とぼくらの想い』のテーマにふさわしい文化祭だったと思います。

11月13日（水）には、奄美市音楽発表会が笠利農村環境改善センターで行われ、笠利中学校は生徒全員で参加しました。舞台上では「さすが中学生」と思われるような素敵な歌声で「輝くために」と「虹」の合唱を披露しました。聞いていた小学校の児童の皆さん、きっと、「中学生ってすごいな」とか「あんな中学生になりたいな」と思ったことだと思います。

11月27日（水）には、奄美市中学校英語暗唱・弁論大会が住用中学校（英語暗唱）と東城中学校（弁論）で行われ、英語暗唱では榮愛真音さんが、弁論では伊瀬知美央さんが笠利中学校の代表として、どちらも堂々とした態度、聞きやすい声量でジェスチャーを交えながら発表してくれました。この日のために二人とも、学校だけではなく、家庭でも繰り返し、一生懸命に練習していたそうです。当日は、その成果を十分に発揮してくれたと思います。榮さんは惜しくも代表を逃しましたが、伊瀬知さんは奄美市代表として12月11日に和泊町で開催される日本復帰記念大島地区弁論大会に出場することになりました。笠利中代表、奄美市代表として頑張って下さい。応援しています。

地域行事では、11月24日（日）に笠利町内一周駅伝競走大会が開催され、本校からも10名の生徒が笠利地区、佐仁地区、手花部地区の選手として出場しました。彼らは、この日のために一般の方や小学生と一緒に毎晩の練習会に参加し、ハードなトレーニングを積み重ねていました。本当に頑張ったと思います。選手にとっては保護者の皆さんや地域の皆さんへの応援が大変心強かったことだと思います。応援、御声援ありがとうございました。

このように、11月も様々な行事がありました。これらの行事や日々の生徒の活動を見ていると、笠利中学校はスポーツが盛んな学校というイメージがありますが、決してそれだけではなく、文化的な活動でも生徒、職員が一生懸命に取り組んでおり、その成果も確実に現れてきていると思います。学校や地域での体育的、文化的な取組が、生徒の健康や体力の保持増進、感性・感受性の涵養や情緒面での成長につながっていると思うと、まさに「文武両道」です。素晴らしいことだと思います。

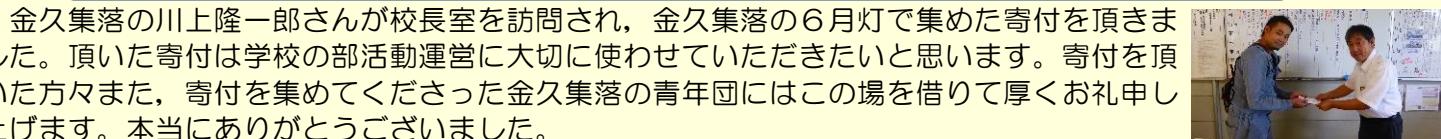
さて、12月3日（火）から期末テストが始まります。テスト前の11月26日（火）から12月5日（木）のテスト最終日まで、「ノーメディア・家事チャレンジ」に取り組むことになります。テストに向けた勉強に集中するためにも、また、家族の一員としての意識を高めさせるためにも、御家族の皆さんの御理解と御協力をいただきながらテレビやゲームに触れない生活を送らせるとともに、1年生は一つ、2・3年生は二つの家事にチャレンジさせてくださいようよろしくお願いいたします。

2学期も残り少なくなってきた、生徒全員が元気に冬休みを迎えるよう、御家庭での健康管理にも御配慮くださるようよろしくお願いします。

これからも、生徒一人一人が輝けるよう職員一同、一丸となって支援して参りますので皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

部活動生に寄付を頂きました！

金久集落の川上隆一郎さんが校長室を訪問され、金久集落の6月灯で集めた寄付を頂きました。頂いた寄付は学校の部活動運営に大切に使わせていただきたいと思います。寄付を頂いた方々また、寄付を集めてくださった金久集落の青年団にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



命を感じる授業「ようこそ 赤ちゃん先生」を実施しました！

11月8日（土）に、NPO法人「ママの働き方応援隊」の協力のもと、命を感じる授業として、「赤ちゃん先生」を実施しました。「赤ちゃん先生」とは、赤ちゃんと触れ合ったり、生まれるまでの状況や生まれた後の成長の様子の話を聞いたりして「命を見つめ、命を大切にするこころ」を育む授業です。当日は、まだ首の座っていない生後2か月の乳児から6歳4か月の幼児まで13名の「赤ちゃん」が『先生』として来校し、授業を実施してくれました。生徒たちは5つのグループに分かれ、赤ちゃんにおやつをあげたり、お散歩をしたりして交流を深めました。恐る恐る赤ちゃんを抱っこする様子も見受けられましたが、赤ちゃんの柔らかくて小さい手足に触れ、生徒全員優しい笑顔で赤ちゃんと触れ合い、命の大切さを学習しました。



「主体的・対話的で深い学び」の実現による学力向上プログラムにおける授業公開を行いました！

鹿児島県教育委員会では、「令和3年度からの中学校の新学習指導要領全面実施に向けて、中学校の組織的かつ総合的な学力向上に向けた取組の充実や「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を通して、生徒の確かな学力の定着を図ることを目的として、『「主体的・対話的で深い学び」の実現による学力向上プログラム』を実施しています。具体的には夏季休業中に学力向上に関する研修会を実施したり、授業展開の具体例を示した資料を作成したりと、様々な取組が事業化されています。その一環として、笠利中学校では『「主体的・対話的で深い学び」の実現による学力向上プログラムにおける授業公開（社会科）』を実施しました。当日は奄美市内の多くの学校の社会科の先生方が来校し本校教諭と一緒に「学力向上」や「指導法改善」について協議を深めました。生徒たちは普段と異なった雰囲気に、最初はやや緊張気味でしたが徐々に慣れ、積極的に話し合い活動や発表に取り組んでいました。



奄美市小・中学校の音楽発表会がおこなわれました！

11月13日（水）に、奄美市内小・中学校音楽発表会が笠利農村環境改善センターで行われました。それぞれの学校らしい特色ある演奏を発表する中、本校も、全校生徒参加し、山下由紀先生伴奏のもと、「輝くために」と「虹」を、心を込めて歌い上げました。

本校では毎朝、とどこからともなく歌声が響いてきます。これからも明るい歌声と、美しいハーモニーが響き渡る笠利中学校を目指していきたいと思います。

令和元年度 奄美市小・中学校音楽発表会



新しい生徒会役員が決まりました！！

10月16日（水）に生徒会立会演説会が行われました。選挙の結果を受け、新生徒会役員が決まりました。生徒会活動とは、様々な活動を通して他者を信頼し支え合おうとする人間関係を構築したり、他者を尊重し、共によりよい集団生活や社会生活を築こうとする開かれた人間関係づくりを行ったりしていく学校内の自治活動です。笠利中は生徒数も少なく、生徒会活動が欠かせません。新生徒会長を中心に、全校生徒一丸となって、笠利中をさらに盛り上げてくれるものと期待しています。地域の皆さん、保護者の皆さん、御協力をよろしくお願いいたします！！

【本 部】生徒会長：丸田 桃香（2年） 副会長：山下 ひなた（2年） 中野 雄賀（1年）
書記・会計：中 健斗（2年）

【専門部】	学習文化部	生活管理部
部 長	上地 さち	鈴倉 花音
副部長	平田 麻奈	大崎 香音

※ 臨時生徒総会を行い、生徒数の減少による生徒会専門部の改変を行いました。
詳細は別紙でお知らせいたします。



11・12月の主な行事

11	24	日	笠利町内一周駅伝大会	11	水	ノーメディア・定時退庁日 生徒会専門部会	17	火	校内駅伝大会予備日	
	26	火	部活動前テスト休み（～5日） ノーメディアチャレンジ（～5日）	12	木	中学校入学説明会		19	木	ノーメディア・定時退庁日 放課後の活動
	29	水	第2回学校評議員会 職に関する指導（3年）	12	14	土	学級PTA 学校保健委員会 校内駅伝競走大会	21	土	青少年育成の日
	3	火	期末テスト（～5日）	15	日	家庭の日 市民総ぐるみ清掃運動		24	火	職員朝会 美化作業 終業式 職員会議 相互点検 職員研修
12	8	日	まちおこしフェスティバル	16	月	人権同和教育学習（5・6）		25	水	冬季休業